

## ビジネスアナリシス・要求開発実践セミナー

# 『ビジネス要求とビジネスモデリング』 2日間コース

### ビジネスルール駆動のビジネスアナリシス

#### いま、もっとも革新的で実践的なビジネスアナリシス・アプローチ

このとても実用的なセミナーは、ビジネスアナリシスにおける比類のない成功を達成するための方法を提供します。このセミナーでは、ビジネス駆動アプローチにもとづいて、革新的なテクニックと、ビジネス要求品質の大幅な改善のための、テクニックを適用する方法を詳細に説明します。さらに4から6週間で最善のビジネスソリューションをエンジニアリングするための、実践テクニックを検討します。

このアプローチの中核は、すべてビジネス観点から表現する、スコープ、戦略、語彙(ボキャブラリー)、プロセスとルールの確立です。このセミナーは、これらすべての領域にまたがって、どのように高い効果を発揮するテクニックを利用するかについての深い、実務的な理解を提供します。それはまた役割と責務に言及します。とりわけ、ビジネスステークホルダーの時間の有効利用を徹底的にはかりながら、活発で、高い影響をもたらす参加を保証します。このセミナーでお伝えするアプローチは、なんども繰り返し現場で実践され、その効果が証明されてきたものです。

またこのアプローチは、システム要求とデザインへのスムーズな移行を可能にします。これによって、完全でとても効果的なビジネス情報システムのリリースの成功をもたらします。

#### コースの目標

- ビジネス要求を開発するための、ビジネス要求の引き出しを準備し、ファシリテートし、分析し、文書化する方法についての、詳細な段階を踏んだ手続きを学ぶこと
- 業務担当者と直接、可能なかぎり最善なビジネスソリューションを開発すること
- いくつかの観点からなるビジネスモデルとビジネスルールを創りだすこと
- ビジネス戦略、語彙(ボキャブラリー)、ビジネスルールとプロセスモデルをバランスさせること
- より堅牢な要求の開発にあたって、ビジネスルールを利用すること
- プロジェクトとビジネスの整合性を継続して保証すること
- 適切な業務担当者が適切なときに適切な方法で参画すること
- 事前に阻害要因を識別し、高くつく下流の手戻りと遅延を避けること
- ITプロジェクトのリターンに対する自組織の投資を保証すること
- 広範な経験を通して最適に調整されたベストプラクティスを学ぶこと
- 現場における成功と失敗の原因を理解すること

#### コースのアウトライン (2日間)

標準コース(2日間)のアウトラインは下記の通りです

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>●ビジネス要求に焦点をあてる<br/>ビジネス駆動とはなにを意味するのか<br/>ビジネスルールの役割<br/>構造化の重要性<br/>参加者の重要性<br/>業務を再考することのアート</li><li>●ビジネスアナリシス・メソッドロジー<br/>ビジネスモデル vs システムモデル<br/>フェーズ、成果物と承認<br/>ビジネスルールを引き出すための<br/>パターンにもとづく質問について</li><li>●プロジェクトスコープを定義する<br/>スコープの要素<br/>ミッション、目的と目標を定義する<br/>アーキテクチャレベルの要求と<br/>プロジェクト計画<br/>プロジェクト憲章とはなにか?</li><li>●ビジネスソリューションを開発する<br/>戦略をどのように構造化するか<br/>ポリシー憲章を開発する<br/>ビジネスリスクを識別し対応する<br/>コアとなるビジネスルールが適合する場合<br/>業務戦略を開発し洗練させる<br/>ビジネスポリシーを開発し洗練させる<br/>ビジネスアプローチの欠落を探す<br/>ビジネスプロセスのモデリングのための<br/>準備を行う</li><li>●ビジネスソリューション戦略から<br/>ビジネスルールを引き出す</li><li>●ビジネスプロセスを開発する<br/>プロセスモデルとビジネスルール<br/>行き詰まり、メルトダウンやそのほかの<br/>落とし穴を避ける方法</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>●ビジネスプロセスモデルを利用して<br/>ビジネスルールを引き出す</li><li>●ファクトモデルを開発する<br/>コアとなるビジネス知識を構造化する<br/>適切な(業務)名称で“もの”を呼ぶ<br/>明確なコンセプトがプロセスをどのように<br/>支援するか</li><li>●構造化業務語彙を利用して<br/>ビジネスルールを引き出す</li><li>●マイルストーンを開発する<br/>業務観点で状態遷移を探索する<br/>状態遷移ルールを引き出す</li><li>●ビジネスモデルを完結させる<br/>ルールの収束のためのその他の場所<br/>ポリシーのパフォーマンスとメトリクス</li><li>●システムモデルを起草する<br/>システムデザイン憲章<br/>ユースケース<br/>遷移と遷移チェックポイント</li><li>●ビジネスルールプロジェクトを実行する<br/>ビジネスルール vs 要求<br/>役割と責務<br/>どのようなツールを必要とするか<br/>ビジネスルールの引き出し工数を見積る<br/>すべてのプロジェクトマネージャが<br/>知っておくべきこと</li><li>●まとめ</li></ul> |
|---|---|